

共同募金たより

平成22年度共同募金運動結果報告について



平成22年10月に
行われた大仙市での
街頭募金活動の
様子だよっ！

はねっち ©nekoanagi

第11号

三月十一日に発生した「東日本大震災」は、東北地方に大きな被害を与えました。被災された方々に対し、心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い被災地の復興をお祈り申し上げます。

本会としても、被災者の方々の生活支援の一助とするための義援金の募集と、大規模災害における復興活動支援のために積み立てておりました準備金の拠出を速やかに行ったところであります。

義援金については、県内からも多くの皆さまにご協力をいただいているところであり、全国的にも多額の寄付が寄せられているとの報道がされています。

県民の皆さまの心には、共同募金の趣旨である「たすけあい」の心がまだまだ残っていることを改めて実感するとともに、本会としても、今後は寄付者の皆さんに納得いただける募金の使いみちへの改革を一層進めることで、義援金とあわせ共同募金運動の積極的な推進を図っていく所存です。このような厳しい社会情勢だからこそ、これまで以上に社会福祉による支援が必要とされます。今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会長挨拶

秋田県共同募金会
会長 前川 盛太郎

新しい共同募金運動に向けたモデル事業が始まります



秋田県共同募金会では、共同募金の使いみちをより地域住民の皆さんの目に見えるものとし、地域の方々がこれまで以上に共同募金運動に積極的に参加していただける体制をつくることを目的として、「共同募金による新しい地域助成の仕組みづくりモデル事業」を実施します。

平成23年度の新しい共同募金運動に向けて、モデル地域となるのは、湯沢市、北秋田市、小坂町、五城目町の4市町。それぞれの地域の共同募金会が、「市町村における助成審査委員会の設置」「市町村における助成団体の公募実施」「助成を受ける団体と地域住民によるパートナーミーティング(助成団体と寄付者のつどいの開催)」などの取り組みを進めます。

平成23年4月15日(金)には、モデル市町村の一つである北秋田市で、赤い羽根共同募金による助成を希望する北秋田市内の福祉団体・ボランティア団体による公開プレゼンテーションと審査会が開催されました。審査会では、助成を申請する団体から、活動の目的や助成の必要性についてアピールが行われ、それに対して市民の代表などから成る審査員からは、申請した活動に対する質問とその後別室に移っての審査が行われました。

共同募金の使いみちの透明性を高めることで、県民の皆さんの共同募金への理解を高めることにつながる素晴らしい取り組みですので、今後こうした取り組みを県内で広く進めたいと考えています。



申請団体による発表の様子



モデル事業助成金の贈呈

共同募金運動・義援金協力企業・団体紹介

～ご協力ありがとうございました～



●共同募金へ 100,000 円
秋田県商工会職員協議会 様



●東日本大震災義援金へ 300,000 円
一般社団法人 秋田県医薬品配置協会 様

